

生理心理学

2 単位 (選択) 2 年 (前期)

佐野 勝徳, 原 幸一・准教授 / 人間文化学科

【授業目的】 生理心理学は、主に生理学的諸手法を用いて脳と行動の関係等を研究し、人間の行動や、心のはたらきを理解しようとする基礎心理学の一領域です。近年、その成果が広く応用、心理学の分野に援用されるようになってきています。これらを視野に入れながら、授業を進めます。授業は、10回の講義と5回のグループ発表からなります。

【授業概要】 脳と心の間を学び、その臨床心理への応用可能性を探ります。

【キーワード】 心の科学, 認知脳科学, 生物時計, 神経心理学

【履修上の注意】 レポートの出来具合で授業の良し悪しが決まります。皆さんの主体的・積極的な参加を希望します。

【到達目標】

1. 次の3点を目標とします。
2. (1) 脳と心の間について、その基礎知識を身につけること。
3. (2) 与えられたテーマについて、グループで調べ、グループでまとめてレポートを作成する力を身につけること。
4. (3) 調べた内容を一定時間内に分かりやすく発表する力を身につけること。

【授業計画】

1. 生理心理学の概要
2. 生理心理学の研究法
3. 末梢神経系の構造と機能
4. 中枢神経系の構造と機能 (1)
5. 中枢神経系の構造と機能 (2)
6. 眠りと生活 (1)
7. 眠りと生活 (2)
8. 学習の生理心理
9. 記憶の生理心理
10. グループ発表 (1)
11. グループ発表 (2)
12. グループ発表 (3)
13. グループ発表 (4)
14. グループ発表 (5)
15. 定期試験
16. 総括授業

【成績評価】 レポート発表と期末試験によって評価します。

【再試験】 原則としてしません。

【教科書】 参考書等は必要に応じ紹介します。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218765>

【連絡先】

⇒ 佐野 .

⇒ 原 (hara@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL